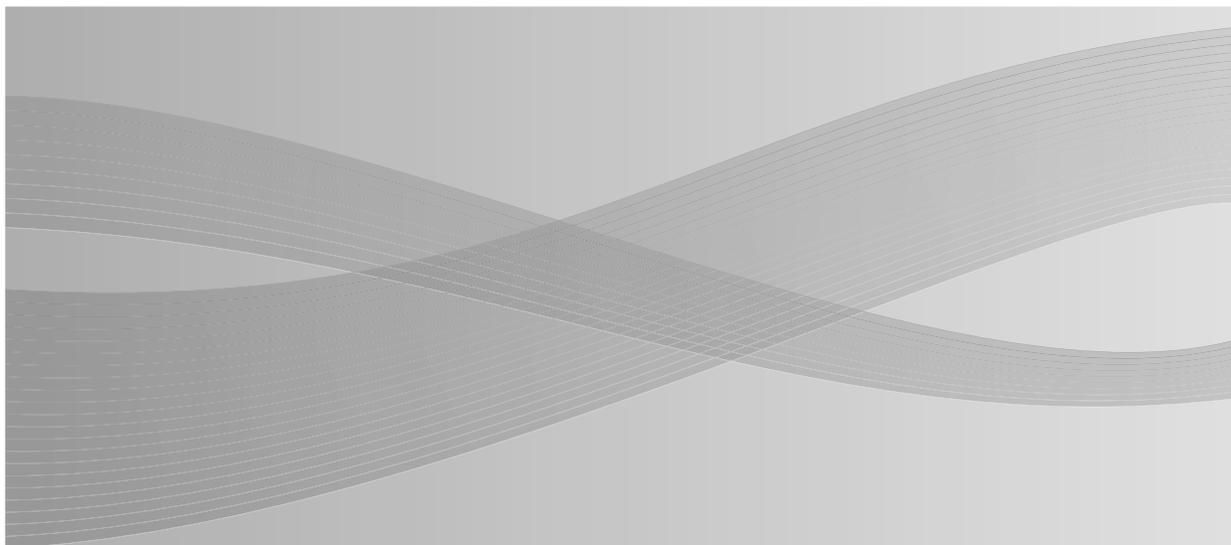


beat



beat/entryサービス
ユーザーズガイド
(beat-box-mini2用)

- Microsoft、Windows、Internet Explorer および Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac および MacOS は、Apple Inc. の商標です。
- Yahoo! および Yahoo!、Y! のロゴマークは、米国 Yahoo! Inc. の登録商標または商標です。
- 一太郎は、株式会社ジャストシステムの登録商標です。
- その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

本書のなかで ▲ と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。

コンピューターウイルスや不正侵入などによって発生した障害については、弊社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

お客様が使用するブロードバンド回線の実効速度が 300kbps を下回った場合、本サービスを提供できない場合があります。また、オプションサービスを使用する場合には、当社は別途回線速度についての条件を設けることがあります。

ご注意

- ① 本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。
- ② 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- ③ 本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。
- ④ 本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。
- ⑤ 本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。
また、安全法規制（電波規制や材料規制など）は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

XEROX、そのロゴと“コネクティング・シンボル”のマーク、および ApeosPort は、米国ゼロックス社または富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。

DocuWorks は、富士ゼロックス株式会社の商標です。

はじめに

beat/entry サービスをご利用いただき、まことにありがとうございます。

beat/entry サービスをご利用いただくためには、beat-box-mini2をお客様のオフィス内に設置していただく必要があります。beat-box-mini2 は beat/entry サービスの一部としてお客様にご利用いただくもので、その所有権は富士ゼロックス株式会社または販売会社に帰属します。

本書では、beat/entry サービスを本サービスと呼ぶことがあります。また、beat-box-mini2 を単に beat-box、あるいは本機器、装置と呼ぶことがあります。

本書は、本サービスをご利用いただくために必要な、本機器のセットアップ方法や注意、本サービスの紹介、利用方法、困ったときの対処方法について、説明しています。

利用方法については、一部のみ掲載になっています。オンラインヘルプをあわせてご利用ください。

セットアップの前には、必ず、「セットアップの前に」をお読みいただき、お客様のネットワーク環境に応じて、ルーターと beat-box-mini2 を設置してください。

本機器はハードディスクを内蔵しているため、電源オン・オフの方法や設置条件などが通常のネットワーク機器とは若干異なります。電源オン・オフおよび beat-box-mini2 のインジケータの説明は、別冊の『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』をお読みください。

なお、本書の内容は、お使いのパーソナルコンピュータの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を習得されていることを前提に説明しています。お使いのパーソナルコンピュータについての操作方法については、パーソナルコンピュータに付属の説明書をお読みください。

本機器を使用するサービスに関する、その他のユーザーズガイドやマニュアルなどについては、以下を参照してください。

<http://www.net-beat.com/support/manual/>

富士ゼロックス株式会社

目次

はじめに	3
目次	4
マニュアル体系	6
本書の使い方	7

1 概要編

□ beat/entry サービスの紹介とお願い	10
beat/entry サービスが守る範囲	10
beat/entry サービスが守る脅威	10
beat/entry サービスの防御機能	11
beat/entry サービスの維持	12
防御の基本	13
さらにセキュリティを強化するためには	14

2 導入編

□ セットアップの前に	16
知っておいていただきたいこと	16
ネットワーク環境を確認する	17
□ セットアップ	22
STEP 1 セットアップの手順を確認してください	22
STEP 2 beat-box を設置してください	23
STEP 3 ネットワーク環境に接続してください	23
STEP 4 電源をオンにしてください	24
STEP 5 セットアップ画面を開いてください	26
セットアップ完了	30

3 利用編

□ 利用を開始する前に	32
□ beat 設定ページを開く	33
□ beat 設定ページにログインする	34
□ オンラインヘルプを見る	36

□ SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法	37
メールのアンチウイルスは必須です	37
SSL によるホームページ閲覧 (https) について	38
迷惑メール判定について	39
4 付録編	
□ 困ったときは	42
セットアップの長時間停止が表示される	43
インターネットに接続できない	43
メールが受信できない	44
メールが送信できない	44
インジケータの点灯状態がいつもと違う	45
□ お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」	46
お問い合わせをする前に	46
beat コンタクトセンター	46
□ 主な仕様	48
beat/entry サービス	48
索引	53

マニュアル体系

次のマニュアルを用意しています。

beat-box-mini2 ユーザーズガイド

beat-box-mini2 を安全にご利用いただくための注意事項、各部の名称、および電源の入れ方や切り方、インジケーターの見方について記載しています。安全にご利用いただくための注意事項は、操作を行う前に必ずお読みください。

beat/entry サービス ユーザーズガイド (beat-box-mini2 用) (本書)

beat/entry サービスをご利用いただくために必要な、本機器のセットアップ方法や注意、beat/entry サービスの紹介、利用方法、困ったときの対処方法などを説明しています。操作を行う前に必ずお読みください。

本書の使い方

本機器の性能を十分に発揮させ効果的にご利用いただくために、本書を最後までお読みください。本書は、読み終わったあとも必ず保管してください。

本機器をご使用中に操作でわからないことや不具合が出たときは、オンラインヘルプ（P.36 参照）もあわせてご活用ください。

本書の構成

次の構成になっています。

1 概要編

beat/entry サービスの紹介とサービスを利用する上で、知っておいていただきたいことについて説明しています。

2 導入編

セットアップの前に知っておいていただきたいことと、セットアップの方法を説明しています。

3 利用編

beat のネットワークを介した設定方法とオンラインヘルプについて説明しています。

4 付録編

困ったときの対処方法と仕様について説明しています。

本書の表記

説明する内容によって、次の記号を使用しています。



注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。



補足事項を記述しています。



マニュアルへの参照を記述しています。



操作手順を記述しています。



操作手順の中で、場合分けするときのタイトルを記述しています。

本書では、操作ボタンやダイアログボックスなどを次のように記述しています。

- [] ボタンや項目、メニューの選択項目など、クリックして選択できるものには [] でくります。また、ダイアログボックス名なども [] でくります。
例： [スタート] ボタン、 [ネットワークダイアログボックス]
- 『 』 入力する文字は『 』 でくります。
例： 『workgroup 』
- < > 利用者ごとに異なる文字列は< >でくります。
例： <ログインした人の名前>

本書の内容についての注意

- 本書に記載されている操作手順、画面やメッセージは、お使いの PC にインストールされている OS バージョンによって異なることがあります。
- 本書に記載されている操作手順の説明で用いている、シリアル番号やIP アドレス、ドメイン名、メールアドレス、パスワードなどは設定例です。実際にお客様が設定する文字列とは異なります。
- 本サービスの機能、操作方法、画面やメッセージは予告なく変更される場合があります。

chapter_

1

概要編

□ beat/entry サービスの紹介とお願い	10
--------------------------------	----

beat/entry サービスの紹介とお願い

本サービスはネットワークセキュリティーを高めることができます。しかし、有害な情報が掲載されている Web ページを閲覧しないなど、お客様の日頃の注意もとても重要です。本サービスの防御機能と、お客様に日頃から注意していただきたいことを説明します。

beat/entry サービスが守る範囲

PC やファイルサーバーなどを本サービスによって守るには、PC などとインターネットの間に本機器がなければなりません。つまり、PC などが本機器を経由せずにインターネットにアクセスできる場合には、その PC などを守ることはできません。詳しくは、本書の「セットアップの前に」(P.16) を参照してください。

beat/entry サービスが守る脅威

本サービスは次の脅威から、お客様のオフィスのネットワークを守ります。

脅威の種類	通信の種類	通信の方向	防御機能名称
不正アクセス	すべて	外部から開始される通信	ファイアウォール
脆弱性をつく攻撃	Web ページ閲覧など	内部から開始される通信の戻りの通信	不正な通信対策
ボット感染による攻撃	すべて	内部から開始される通信	不正な通信対策
ウイルス 悪意のあるスパイウェア ワーム トロイの木馬	メール送受信 http (Web ページ閲覧) ftp	双方向	アンチウイルス
迷惑メール	メール受信	外部からのメール迷惑	メール判定機能
許可しないメール送信による情報漏洩	メール送信	内部からのメール	メール送信制限
ファイル共有ソフトによる感染や情報漏洩	ファイル交換	双方向	不正な通信対策
メッセージャーによる感染や情報漏洩	Windows Live (MSN) メッセージャーなど	双方向	不正な通信対策

脅威の種類	通信の種類	通信の方向	防御機能名称
リモートアクセスソフトによる感染や情報漏洩	PPTP、IPSec、OpenVPN など	双方向	不正な通信対策
業務外の Web 閲覧	http (Web ページ閲覧)	内部からの閲覧	beat コンテンツフィルタサービス(オプション)

📖 参照

各防御機能の制限などの詳細は、次の「beat/entry サービスの防御機能」(P.11) 参照してください。

beat/entry サービスの防御機能

本サービスがご提供する各防御機能は次のようになっています。

各機能の詳細および設定方法は、オンラインヘルプ (P.36) を参照してください。

防御機能の名称	機能	制限など
ファイアウォール	インターネット側から開始される通信をすべて遮断します。	ブリッジモードで動作するため ARP パケットと DHCP パケットは通過させます。
アンチウイルス	次の通信に関して双方向にアンチウイルスを行い、ウイルス、悪意のあるスパイウェア、ワーム、トロイの木馬が検出された場合には通信を遮断します。 <ul style="list-style-type: none"> メール受信 pop3 (ポート 110 番) メール送信 smtp (ポート 25 および 587 番) Web ページ閲覧、アップロード (Web メールも対象となります) http (ポート 80 番) ftp ftp (ポート 21 番およびデータコネクション) 	SSL を用いたメール送受信は通信内容が暗号化されているため、アンチウイルスを行えません。また、IMAP には対応していません。ウイルス感染を防ぐために、これらの通信で利用するポートは閉じています。設定によりこれらのポートを開けることは可能です。 https や ftps は通信内容が暗号化されているため、アンチウイルスを行えません。これらの通信はそのまま通過します(左記のポート以外は通過します)。アンチウイルスを行っても、新種のウイルスなどは検出できないことがあります。
不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム)	LAN 側から開始された通信の戻りの通信に含まれる脆弱性などをつく攻撃(クロスサイトスクリプティングなど)の可能性がある通信を遮断します。また、LAN 側からインターネット側に対して加害行為を行う可能性のある通信(ボット感染による攻撃など)を遮断します。	すべての攻撃を遮断することを保証するものではありません。

防御機能の名称	機能	制限など
不正な通信対策 (アプリケーションの通信禁止)	ファイル交換ソフトウェア、メッセージャー、リモートアクセスソフトウェアによる通信を遮断します。トロイの木馬による感染や、情報漏洩を防止することができます。	利用するためには、遮断したいアプリケーションを指定する必要があります。対象となるアプリケーションはオンラインヘルプ (P.36) を参照してください。
迷惑メール判定機能	迷惑メールを判定し、迷惑メールの件名の先頭に指定した文字(初期値は“spam”)を追加します。メールソフトの振り分け機能などで、迷惑メールを振り分けることなどを想定しています。	利用するためには、この機能を有効にする必要があります。判定精度は98%以上です。ごくまれに正常なメールを迷惑メールと判定することがあります。
メール送信制限	指定されたメールアドレス以外からのメール送信を遮断します。情報漏洩を防止します。	利用するためには、利用者の自動登録を無効に設定し、送信を許可する利用者のメールアドレスを登録する必要があります。利用者の自動登録機能の初期設定は有効です。
beat コンテンツフィルターサービス	指定したカテゴリーに属する Web ページの閲覧を遮断します。	オプションサービスです。別途契約が必要です。

beat/entry サービスの維持

お客様のオフィスにある本機器は、beat-noc (ネットワークオペレーションセンター) からソフトウェアの更新やハードウェアの監視を行っています。

本機器が故障などで停止した場合には、beat コンタクトセンターまでご連絡ください。利用方法がご不明な場合も、beat コンタクトセンターまでお気軽にお問い合わせください。

また、beat お客様サポートサイト (<http://www.net-beat.com/support/>) でも、本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。あわせてご利用ください。

参照

beat コンタクトセンターの連絡先は、「beat コンタクトセンター」(P.46)を参照してください。

防御の基本

本サービスをご利用になることで、ネットワークセキュリティを高め、多くの脅威を防ぐことができますが、100% 防ぐことはできません。また、新たな攻撃手法が開発されるスピードが速くなってきています。そのため、次のことも併せて行っていただくことを、お願い致します。

- ソフトウェアを最新に保ってください。
 - ・ Windows や Mac OS などの OS
 - ・ Web ブラウザーやメールソフト
 - ・ 文書作成ソフトなどのアプリケーションソフトウェア
 - ・ お使いの PC にインストールされたウイルス対策ソフト
- 安全が確認できない Web サイトへのアクセスは避けてください。
 - ・ Web サイトを閲覧するだけで攻撃される場合があります。
 - ・ 有害な情報が掲載されている Web サイトほど危険です。
- メールからウイルス感染しないために次のことに注意してください。
 - ・ 送信元が不明なメールの添付ファイルは開かないでください。
 - ・ 迷惑メールは開かないでください。
 - ・ メールはテキスト形式で表示することをお勧めします。
 - ・ メールソフトのプレビューをオフにすることをお勧めします。
 - ・ 不用意にリンクをクリックしないでください。
- PC へのアンチウイルスやファイアウォールなどの対策を行ってください。
 - ・ ネットワークを介さない USB メモリなどからの感染を防ぐことができます。
 - ・ 外出先や自宅などでノート PC を利用する場合は、対策は必須です。
- ファイル交換ソフトは利用しないでください。
 - ・ 業務で利用する PC では、利用しないことをお勧めします。

さらにセキュリティを強化するためには

beat 設定ページから、セキュリティをさらに高める機能を有効にすることができます。

参照

beat 設定ページについては、「beat 設定ページを開く」(P.33) を参照してください。

以下に概要を説明しているセキュリティを強化する機能は、標準機能として提供していますので、ぜひご活用ください。

不正な通信対策機能

不正な通信対策機能 (IPS : Intrusion Prevention System) とは、侵入防止システムのごとく、不正な通信を検知すると通信遮断などの制御をリアルタイムに行います。beat 設定ページで機能を「有効」に設定するだけで、ウイルスやバックドアによる内部からの不正な通信を beat-box で制御します。

参照

設定方法は、オンラインヘルプ (P.36) を参照してください。

迷惑メールの検知状況

業務に被害や支障をもたらす迷惑メールを簡単に対策できるのが、迷惑メール判定機能です。beat 設定ページで機能を「有効」に設定するだけで、迷惑メールの件名の先頭に「spam」などの指定の文字列を追加します。メールソフトの振り分け機能と合わせて活用すれば、不要な迷惑メールを受信トレイ以外の場所に振り分けることが可能です。

参照

設定方法は、オンラインヘルプ (P.36) を参照してください。

さらに、設定を有効にすると、beat 設定ページで受信者のメールアドレスごとに迷惑メールの判定数を確認できます。

表示対象期間	全メール件数	全迷惑メール件数	迷惑メール割合
先々週 (04/30 ~ 05/06)	190件	150件	78.9%
メールアドレス	利用者名	迷惑メール件数 (全迷惑メール150件中)	
1	fujitaro@fujixeroc.co.jp	富士太郎	56件 (37%)
2	fujijiro@fujixeroc.co.jp	富士次郎	44件 (29%)
3	fujisaburo@fujixeroc.co.jp	富士三郎	34件 (23%)
4	fujishiro@fujixeroc.co.jp	富士四郎	10件 (7%)
5	fujigoroo@fujixeroc.co.jp	富士五郎	6件 (4%)
表示対象期間	全メール件数	全迷惑メール件数	迷惑メール割合
先週 (05/07 ~ 05/13)	190件	150件	78.9%

chapter_

2

導入編

□ セットアップの前に	16
□ セットアップ	22

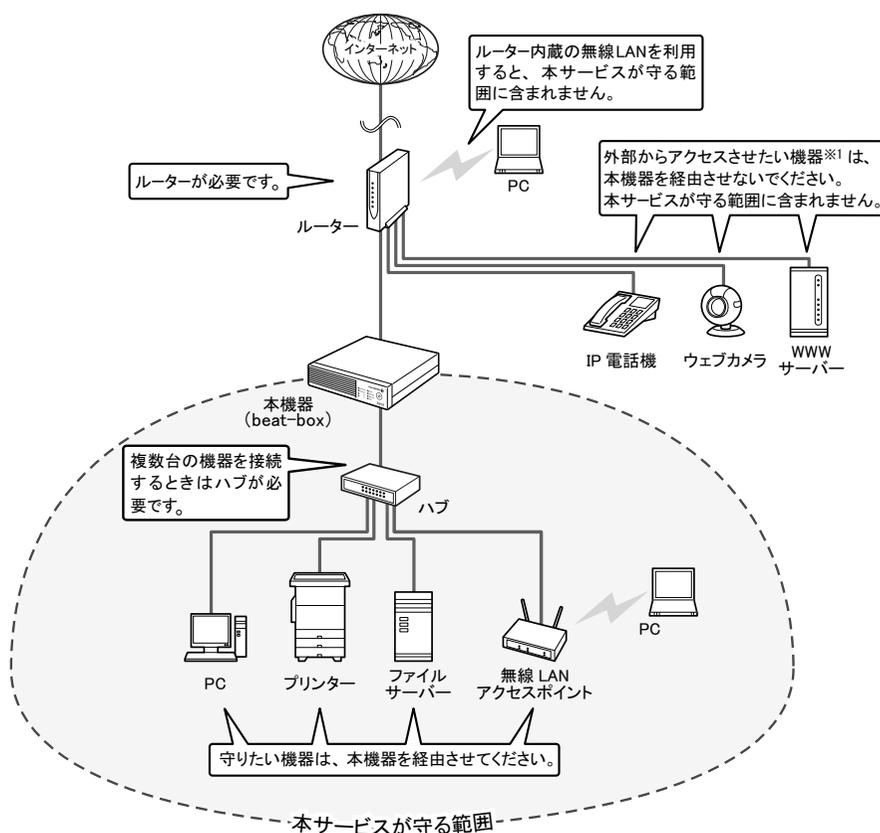
セットアップの前に

本サービスを利用するために、お客様のネットワーク環境を確認し、必要に応じてネットワーク構成の変更を行ってください。

※本機器はまだ設置しないでください。「セットアップ」(P.22) で設置します。

知っておいていただきたいこと

本サービスは、さまざまなインターネットの脅威から PC などを守ります。下図のように本サービスが守る範囲は beat-box の配下となります。



*1 「本サービスが守る範囲」内の機器から外部からアクセスさせたい機器に、コンピューター名 (NetBIOS 名) でアクセスできなくなります。その場合には、コンピューター名の代わりに IP アドレスを指定してください。

ネットワーク環境を確認する

beat-box のインターネット側には、必ずルーターが必要です。

次の場合に該当するときは、ネットワークの変更が必要になります。それぞれの場合ごとの、変更手順に従ってください。ネットワークを変更したあとで、すべての PC から Web 閲覧、メールの送受信が行えることを確認し、その後、セットアップを行ってください。

- ルーター（モデム内蔵ルーターを含む）を利用していない場合（P.18）
- ルーター内蔵のハブ機能を利用している場合（P.19）
- 外部からアクセスさせたい機器（IP 電話やウェブカメラなど）を利用している場合（P.20）
- ルーター内蔵の無線 LAN 機能を利用している場合（P.21）

参照

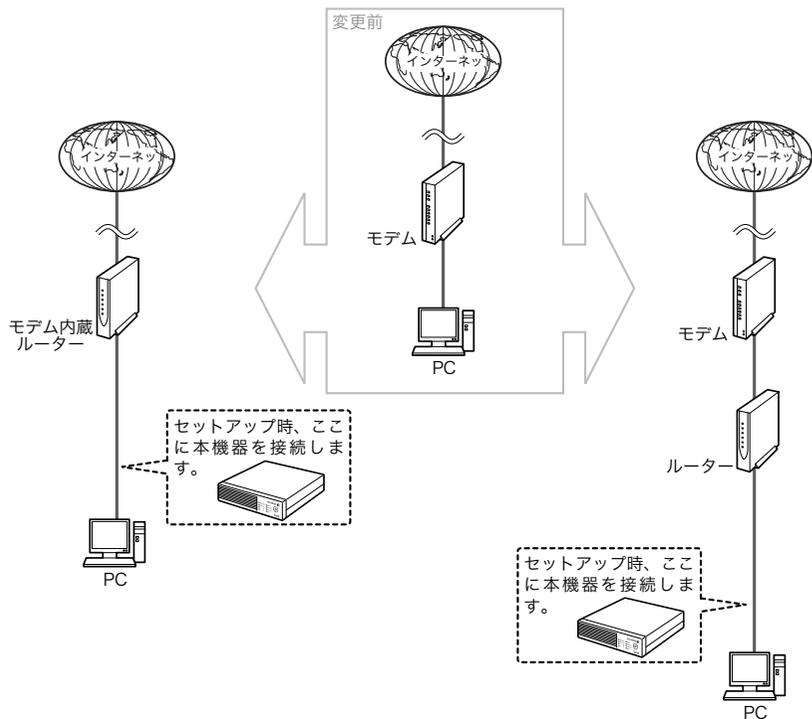
セットアップについては「セットアップ」（P.22）を参照してください。

beat-box 設置のために事前にネットワーク構成を変更した場合には、beat-box を設置する前に、すべての PC から Web ページの閲覧、メールの送受信ができることを確認してください。確認後、beat-box を設置する作業を開始してください。

注記

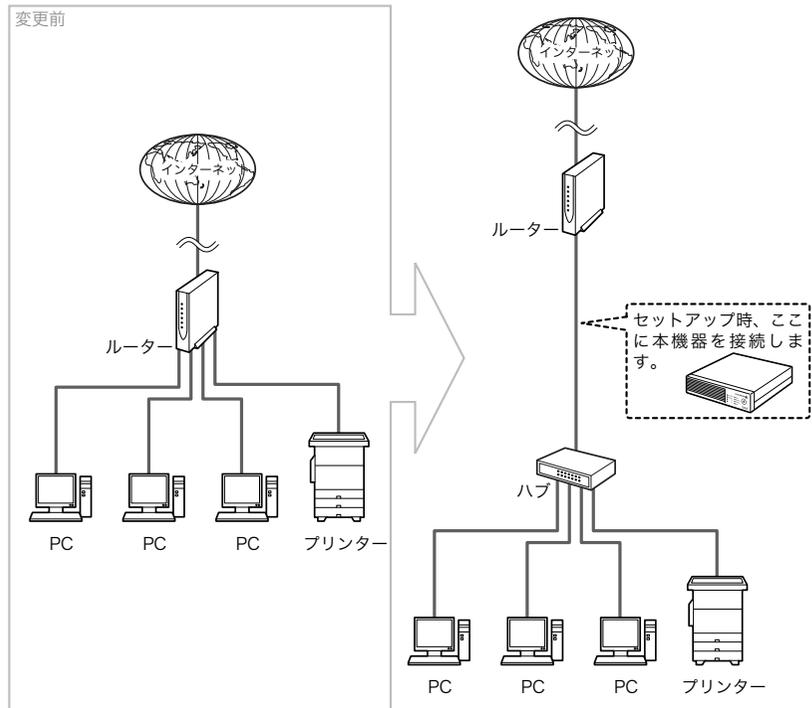
beat/enty では、beat-box がルーティング機能を持っていません。beat-box 配下に他社 VPN や L3 スイッチによるセグメントが存在するような構成の場合、beat/entry サービスを正常にご利用いただくことができません。

ルーターを利用していない場合



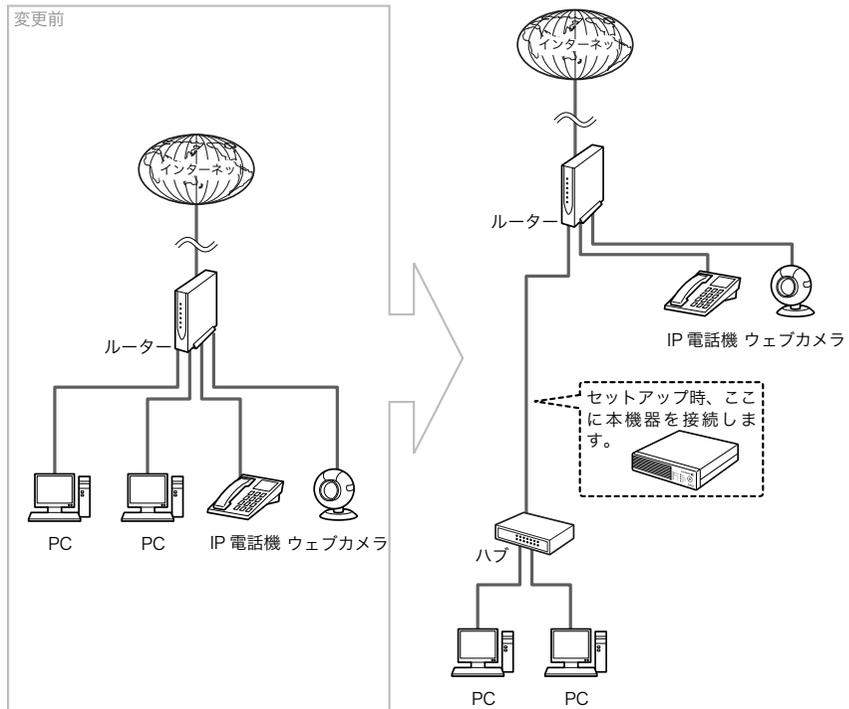
ご用意いただく機器	有線ルーター
<p>変更手順</p>	<p>ルーター(モデム内蔵ルーターを含む)を利用しているかどうかを確認してください。2台以上の機器(PCなど)を利用していれば、ルーターを利用しています。ルーターを利用している場合には、この変更は不要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 ルーターを利用していない場合には、新たに有線ルーターをご用意ください。(ただしUSBモデムの場合には、通常のモデムか、モデム内蔵ルーターに変更する必要があります。プロバイダー(ISP)にお問い合わせください。) 2 ルーターをモデムに接続してください。 3 PCをルーターに接続してください。 4 PCにてプロバイダー(ISP)のIDとパスワードを設定してプロバイダー(ISP)との認証をしていた場合には、ルーターにて認証するようにルーターにその設定をしてください。設定方法はルーターのマニュアルをご参照ください。IDとパスワードはプロバイダー(ISP)から送付された書類をご参照ください。IDとパスワードが不明な場合には、プロバイダー(ISP)にお問い合わせください。 5 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください。

ルーター内蔵のハブ機能を利用している場合



ご用意いただく機器	ハブ
変更手順	<p>ルーターに直接接続している機器（PC など）が2 台以上の場合には、ルーター内蔵のハブ機能を利用しています。その場合には、この変更を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たにハブを用意してください。 2 ルーターに接続されていた機器を、ハブに接続し直してください。 3 ハブをルーターに接続してください。 4 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください。

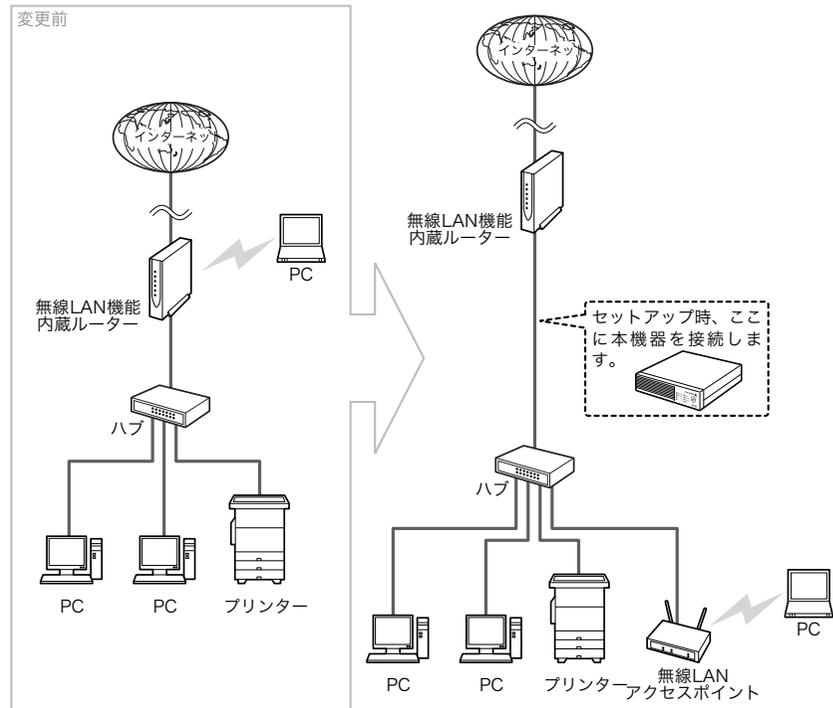
外部からアクセスさせたい機器を利用している場合



ご用意いただく機器	ハブ (必要に応じて)
<p>変更手順</p>	<p>外部からアクセスさせたい機器とは、IP 電話、ウェブカメラ（ネットワーク接続タイプ）、社外公開用 WWW サーバーなどです。これらを利用している場合には、この変更を行ってください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 本機器は外部からの通信を遮断しますので、外部からアクセスさせたい機器がある場合には、本機器を経由させないでください（ただし、それらの機器は本サービスが守る範囲に含まれません）。 2 外部からアクセスさせない機器（守りたい機器）は、beat-box 配下になるようにします。必要に応じてハブが必要となります。 3 別途ルーターには、外部からアクセスさせたい機器へのポートフォワードの設定が必要です（今まで使っていた場合は、すでに設定されているはず）。 4 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください。^{*1}

*1 beat-box 配下の機器から「外部からアクセスさせたい機器」に、コンピューター名（NetBIOS 名）でアクセスできなくなります。その場合には、コンピューター名の代わりに IP アドレスを指定してください。

ルーター内蔵の無線 LAN 機能を利用している場合



ご用意いただく機器	無線 LAN アクセスポイント
<p>変更手順</p>	<p>ルーターに内蔵されている無線 LAN を利用している場合、その無線 LAN によって接続されている PC は本サービスが守る範囲に含まれません。この変更を行ってください。ルーターとは別の無線アクセスポイントを利用している場合は、この変更は不要です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 新たに無線 LAN アクセスポイントを用意してください。 市販の無線 LAN ルーターを利用の場合には、有線ルーターを新たに用意し、既存の無線 LAN ルーターをアクセスポイントにする方法もあります。 2 無線 LAN のアクセスポイントはブリッジモードとすることをお勧めします。 3 各機器が、変更前と同様に通信できることを確認してください。

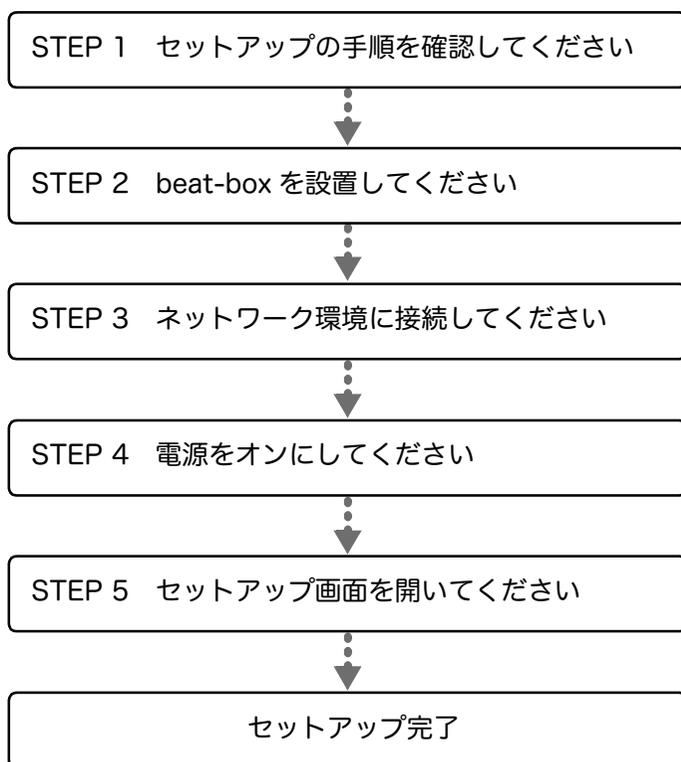
セットアップ

はじめて本サービスをお使いになる場合は、セットアップ作業が必要です。

セットアップの最後に、必ずメールアドレスを入力して beat-box 責任者を登録してください。

なお SSL 通信によるメールの送受信に対しウィルスチェックを行うには、個別に設定変更が必要なので、注意してください。詳細については、「SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法」(P.37) を参照してください。

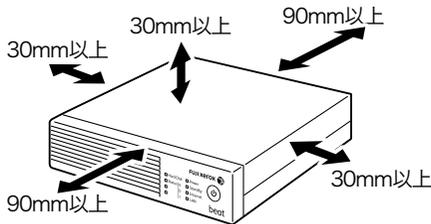
STEP 1 セットアップの手順を確認してください



STEP 2 beat-box を設置してください

操作手順

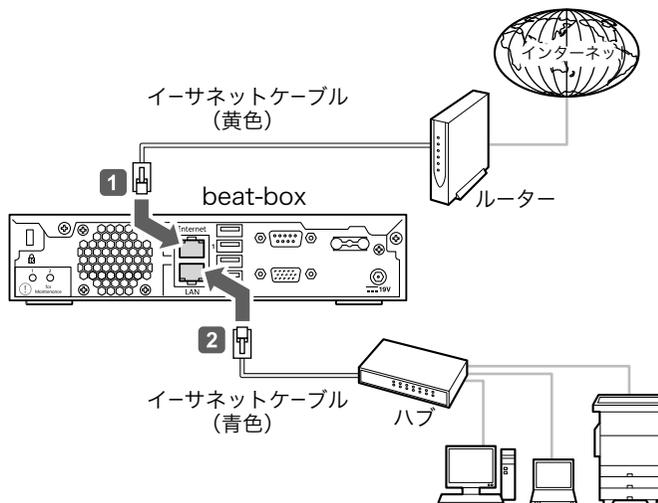
- 1 本機器を前 90mm、後 90mm、側面 30mm、上方 30mm 以内に PC や壁がない場所に設置してください。
換気が悪くなると本体内部の温度が上昇し、誤作動、故障、火災の原因となるおそれがあります。本機器を横置き以外に設置しないでください。
また、装置の上に、ものを載せないでください。



STEP 3 ネットワーク環境に接続してください

操作手順

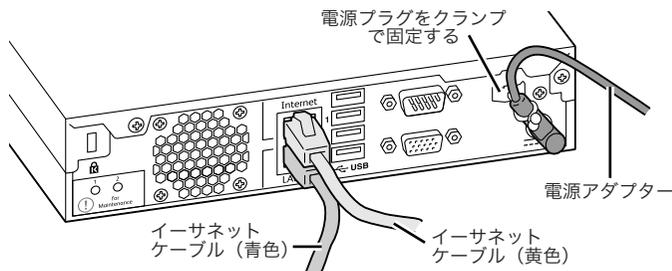
- 1 付属のイーサネットケーブル（黄色）を使用して、本機器を、ルーターなど既存のネットワーク機器と接続します。コネクタは「カチッ」と音がするまで挿入してください。
- 2 付属のイーサネットケーブル（青色）を使用して、本機器を、ハブや PC、または既存のネットワーク機器と接続します。コネクタは「カチッ」と音がするまで挿入してください。



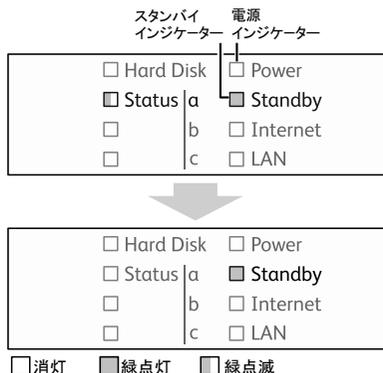
STEP 4 電源をオンにしてください

操作手順

- 1 付属の電源アダプターの電源プラグを本体背面の電源ジャックに接続します。電源プラグの抜け防止のため、クランプで電源プラグを固定します。



- 2 電源アダプターを差し込むと、スタンバイインジケータが点灯し、ステータスインジケータ a が緑点滅します（このときに、一時的に他のインジケータが点滅する場合がありますが、問題ありません）。

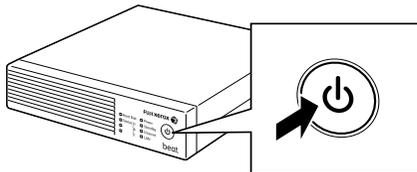


約 1 分で、完了して、スタンバイインジケータのみが点灯します。

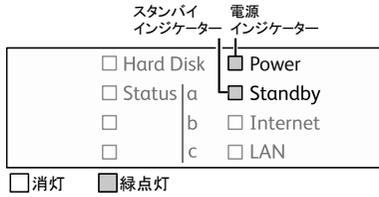
緑点灯していない場合は、背面の電源ジャックに電源アダプターが正しく差し込まれていることを確認してください。

- 3 スタンバイインジケータが緑点灯していることを確認します。

- 4 電源スイッチを押します。



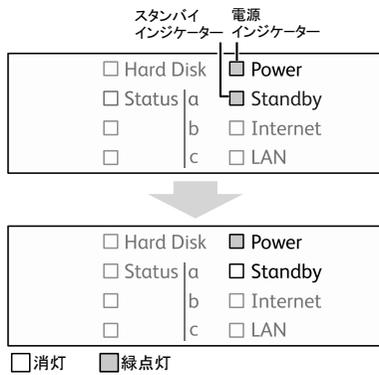
スタンバイインジケータと電源インジケータが緑点灯になります。



補足

電源をオフにしてから、次に電源をオンにするまでの間は、10 秒以上の間隔を空けてください。

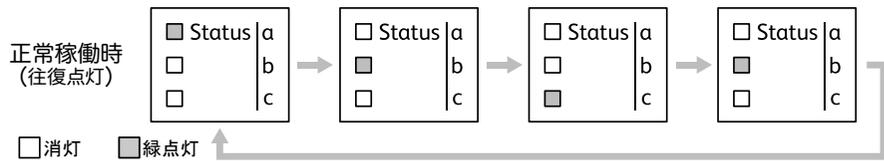
5 スタンバイインジケータが緑点灯から消灯になるまで、しばらくお待ちください。



補足

15 分以上経過しても、スタンバイインジケータが消灯しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。

起動が完了し正常稼働が始まると、ステータスインジケータ a、b、c は下図のように緑点灯が上下に往復します。



STEP 5 セットアップ画面を開いてください

操作手順

2

導入編

- 1 PC でブラウザを起動します。
- 2 アドレス欄に『http://beat-box.net-beat.com:8080/』と入力します。



- 3 セットアップ画面が表示されます。



補足

セットアップ画面にアクセスできない場合は、本機器が再起動を行っています。3分後に再度アクセスしてください。

- 4 以降のセットアップ作業は、画面の指示にしたがってください。お客様のネットワーク環境によって表示される画面は異なります。

ネットワーク接続設定の画面が表示された場合は

イーサネットポート（Internet）に接続されたルーターで DHCP が提供されている場合には、自動設定で完了します。そうでない場合には、「ネットワーク接続設定」の画面が表示され、手動での設定が必要となります。

● DHCP が提供されている場合

セットアップ画面を開いたタイミングによっては、DHCP が提供されているにもかかわらず自動設定処理が完了していないためにこの画面が開かれることがあります。

その場合には、[ネットワーク接続方式] を [自動 (DHCP)] にしたまま、[適用] ボタンをクリックします。

beat-boxのセットアップ
ネットワーク接続設定



Hello!
Broadband
Communication.

beat-boxのIPアドレスや、デフォルトゲートウェイ、beat-boxが参照するDNSサーバーなどの設定の変更を行います。

ネットワーク接続方式を「手動 (固定IP)」にした場合、*印の項目は入力が必要となります。

ネットワーク接続方式:

*beat-boxのIPアドレス:

*サブネットマスク:

*デフォルトゲートウェイ:

*プライマリーDNSのIPアドレス:

セカンダリーDNSのIPアドレス:

※ MACアドレスでネットワークアクセス管理を行っている場合、beat-boxのMACアドレスとして「08-00-B9-1F-2B-4E」を必要な機種に設定してください。

● DHCP が提供されていない場合

DHCP が提供されていない場合には、まず beat-box に IP アドレスを割り当ててください。次に [ネットワーク接続方式] を [手動 (固定 IP)] にして、次の項目を入力します。

beat-boxのセットアップ
ネットワーク接続設定



Hello!
Broadband
Communication.

beat-boxのIPアドレスや、デフォルトゲートウェイ、beat-boxが参照するDNSサーバーなどの設定の変更を行います。

ネットワーク接続方式を「手動 (固定IP)」にした場合、*印の項目は入力が必要になります。

ネットワーク接続方式:

*beat-boxのIPアドレス:

*サブネットマスク:

*デフォルトゲートウェイ:

+プライマリーDNSのIPアドレス:

セカンダリーDNSのIPアドレス:

※ MACアドレスでネットワークアクセス管理を行っている場合、beat-boxのMACアドレスとして「08-00-B9-1F-2B-4E」を必要回数に設定してください。

・ [beat-box の IP アドレス]

beat-box に割り当てた IP アドレスを入力してください。

・ [サブネットマスク]

beat-box を含むサブネットのマスクを "255.255.255.0" のように入力してください。

・ [デフォルトゲートウェイ]

ルーターの LAN 側の IP アドレスを入力してください。

・ [プライマリー DNS の IP アドレス]

ルーターに設定されているプライマリー DNS の IP アドレスを入力してください。

・ [セカンダリー DNS の IP アドレス]

ルーターに設定されているセカンダリー DNS の IP アドレスを入力してください。これは省略可能です。

セットアップの最後に、beat-box 責任者登録の画面が表示されます。

beat-box 責任者登録の画面が表示された場合 (セットアップが完了して初期化が終了すると、この画面が表示されます)

beat-box 責任者とは、本サービスの管理・運用を担う利用者で、ほぼすべての設定を行うことができます。

beat-box 責任者として登録する方のメールアドレスを入力し、[登録] ボタンをクリックしてください。

beat-box 責任者登録が完了すると、beat-box 責任者のメールアドレス、ログイン ID、パスワードが表示されます。ログイン ID とパスワードは、本サービスの設定や管理を行う「beat 設定ページ」へのログイン時に必要になります。

初期パスワードは、本機器のシリアル番号です。

シリアル番号 (SER# につづく 6 桁の数字) は本機器の上面に貼付してあります。

参照

詳細は『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』を参照してください。

- 5 セットアップ完了の画面が表示されたら、セットアップは完了です。**
セットアップが完了すると、beat-box 責任者のメールアドレスとして登録したメールアドレス宛に「beat-box 責任者登録確認メール」が送信されます。

 **補足**

「beat-box 責任者登録確認メール」が届かない場合には、次の原因が考えられます。

- ・メールの受信方式が SSL によるメール受信 (POP over SSL) や IMAP になっている。
この場合は、本書の「SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法」(P.37) を参照してください。
- ・登録されたメールアドレスが間違っている。
この場合は、登録されたログイン ID で beat 設定ページにログインし、「設定」、「自身の設定」の順にメニューをたどり、「利用者情報変更」でメールアドレスを修正してください。
※ メールアドレスを修正しても、「beat-box 責任者登録確認メール」は送信されません。
- ・このメールには、URL が含まれるため、迷惑メールと誤判定されることがあります。
迷惑メールフォルダーや削除済みフォルダーを確認してください。誤判定されていた場合、今後の beat-box 責任者宛のメールを受信するために、beat-box@net-beat.com からのメールを許可するなどの対応をお願いします。

 **補足**

インジケーターの往復点灯が始まると、セキュリティー機能が働きます。それ以前でもメールや Web 閲覧などは行えますが、セキュリティー機能は働いていないのでご注意ください。

■ セットアップ完了

セットアップが完了すると、以下の機能が自動的に有効になります。

- ファイアウォール
- メールのアнтиウイルス
- Web 閲覧のアнтиウイルス
- ftp のアチウイルス
- 不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム)

上記以外の機能 (迷惑メール判定機能や各オプションサービスなど) を利用するには設定が必要です。詳細は「3 利用編」(P.31) を参照してください。

chapter_

3

利用編

□ 利用を開始する前に	32
□ beat 設定ページを開く	33
□ beat 設定ページにログインする	34
□ オンラインヘルプを見る	36
□ SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法	37

利用を開始する前に

▶▶ セットアップ後に自動的に働きはじめる機能

以下の機能はセットアップ後、自動的に有効になります。本機器への設定、メールソフトやブラウザの設定変更は不要です。本サービスをご利用する前と同じように、メールの送受信や Web ページの閲覧などをしてください。

- ファイアウォール
- メールアンチウイルス
- Web 閲覧のアンチウイルス
- ftp のアンチウイルス
- 不正な通信対策 (IPS: 攻撃防御システム)

▶▶ 利用のために設定が必要な機能

以下の機能はセットアップ完了時点では、有効になっていません。利用環境や目的に合わせて本サービスへの設定が必要です。メールソフトやブラウザの設定変更は不要です。

- 上記以外の基本機能
迷惑メール判定、不正な通信対策 (アプリケーションの通信禁止)、ApeosPort 連携、複合機 / プリンター管理、文書ストレージ など
- 各オプションサービス
beat コンテンツフィルターサービス、beatPC 用アンチウイルスサービス、beat/entry リモートアクセスサービス、安心ファクスサービス、beat オンデマンドサービス for DocuWorks など

メール送信制限や、ウイルス感染など、いくつかの理由によってメール送受信を止める場合があります。その場合には、メール送受信を止めた理由とお願いしたい対処方法を、メールの送信者または受信者、beat-box 責任者のうち、システムで判断したかたに、メールで通知します。メールの内容に従って対処をお願いします。

この「利用編」では、本サービスを利用するために必要な設定や、特に注意していただきたいことについてご説明しています。各機能の内容や設定方法については、オンラインヘルプを参照してください。



参照

「オンラインヘルプを見る」(P.36)

beat 設定ページを開く

beat 設定ページとは、本サービスの利用や設定を行う、本機器上の Web ページです。

操作手順

- 1 PC でブラウザを起動し、アドレス欄に『<http://beat-box.net-beat.com:8080/>』と入力します。



beat 設定ページが表示されます。

beat Hello! Broadband Communication

ホーム | 利用 | 設定 | ヘルプ

■ ホーム

このWWWサービスは、beatサービスを利用する際に必要な機能を提供するものです。オンラインヘルプなどの参照もできます。

まず、右上のメニューを選び、次に左側のメニューを選んでください。利用者の確認を求められましたら、ログインIDとパスワードを入力してください。

右上のメニューの主な内容は次のようになっています。

- ホーム
 - このページです。
- 利用
 - レポート参照
 - PC用ソフトウェアのダウンロード
 - 変更注文の申し込み
 - 複合機/プリンター管理
 - beat-box停止・再起動
- 設定
 - 各利用者自身の設定変更
 - 各利用者の管理
 - beat-box責任者の管理
 - PC用ソフトウェアのライセンス管理
 - リモートアクセス管理
 - コンテンツフィルター管理
 - 迷惑メール判定管理
 - ApeesPort連携管理
 - 文書ストレージ管理
- ヘルプ
 - 基本サービスの説明と操作方法
 - オプションサービスの説明と操作方法
 - マニュアルダウンロード
 - お問い合わせ窓口
 - サイトマップ
 - ヘルプ検索

* ネットワーク接続設定などの、より高度なネットワークの設定や、beat-boxのシステム内部の詳細情報等の参照には、高度な設定ツールをご利用ください。

補足

beat 設定ページを利用するにはログインが必要です。ログイン方法は次のページを参照してください。

beat 設定ページにログインする

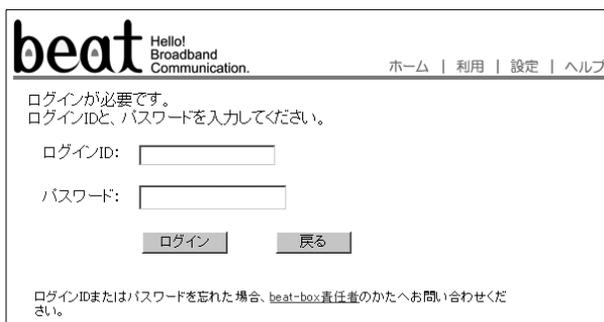
beat 設定ページにログインするためには、利用者（beat-box 責任者を含む）として登録されている必要があります。セットアップ手順で beat-box 責任者として登録されたかたは、他のかたを利用者として登録することができます。

操作手順

- 1 beat 設定ページを開きます。
手順は「beat 設定ページを開く」（P.33）を参照してください。
- 2 画面右上にある [ログイン] をクリックして、「ログイン」画面に移動します。



- 3 ログイン ID とパスワードを入力し、[ログイン] ボタンをクリックします。



補足

- ・パスワードは「●」や「*」などで表示されます。
- ・ログイン ID、パスワードを忘れてしまった場合は、beat-box 責任者に問い合わせてください。[beat-box 責任者] をクリックすると beat-box 責任者一覧が表示されます。

- 4 ログインが成功すると、画面右上に [<ログインした人の名前>のログアウト] と表示されます。



5 利用したいメニュー項目をクリックし、設定などを行ってください。

補足

beat 設定ページの利用を終了したらログアウトしてください。

ログアウトするには、[<ログインした人の名前>のログアウト] をクリックします。表示されたログアウト確認画面で [ログアウト] ボタンをクリックします。

オンラインヘルプを見る

本機器には beat-noc（ネットワークオペレーションセンター）との連携により常に最新のオンラインヘルプが用意されています。

🖱️ 操作手順

- 1 beat 設定ページを開きます。
手順は「beat 設定ページを開く」（P.33）を参照してください。
- 2 [ヘルプ] をクリックします。



オンラインヘルプが表示されます。

- 3 閲覧したい項目をクリックします。



📎 補足

オンラインヘルプに記載されていない内容については beat コンタクトセンターへお問い合わせください。

SSL によるメール送受信と IMAP の利用方法

本サービスの初期状態では、ウイルス感染を防止するために SSL によるメール送受信と IMAP の通信を禁止しています。次の設定によって、SSL によるメール送受信と IMAP を利用できます。



操作手順

- 1 beat-box 責任者のかたが beat 設定ページにログインします。
ログイン方法は「beat 設定ページにログインする」(P.34) を参照してください。
- 2 「設定」、「高度な設定」、「メールセキュリティ設定」の順にメニューをたどり、「IMAP・SSL 通信制御」で「ウイルスチェックされないメール通信を遮断する」のチェックを外してください。

この設定を行うと、SSL によるメール送受信と IMAP がともに利用できるようになります。しかし、本サービスはこれらのメール送受信に対するアンチウイルスを行うことができません。上記の設定を行う前に、次のページのフローにしたがって メールのアンチウイルスが行われます となる状態での利用をおすすめします。また、SSL によるメール送受信と IMAP に対しては迷惑メール判定も行えません。

メールのアンチウイルスは必須です

SSL は通信内容を暗号化したり、通信相手を認証したりする仕組みです。そのため、盗聴やなりすましを防ぐために有効な場合があります。

メール送受信に SSL を利用することで、メールソフトとメールサーバー間の通信の盗聴を防ぐことができます。しかし、相手のメールソフトとメールサーバー間は相手のかたの設定に依存します。メールサーバー間は暗号化されません。

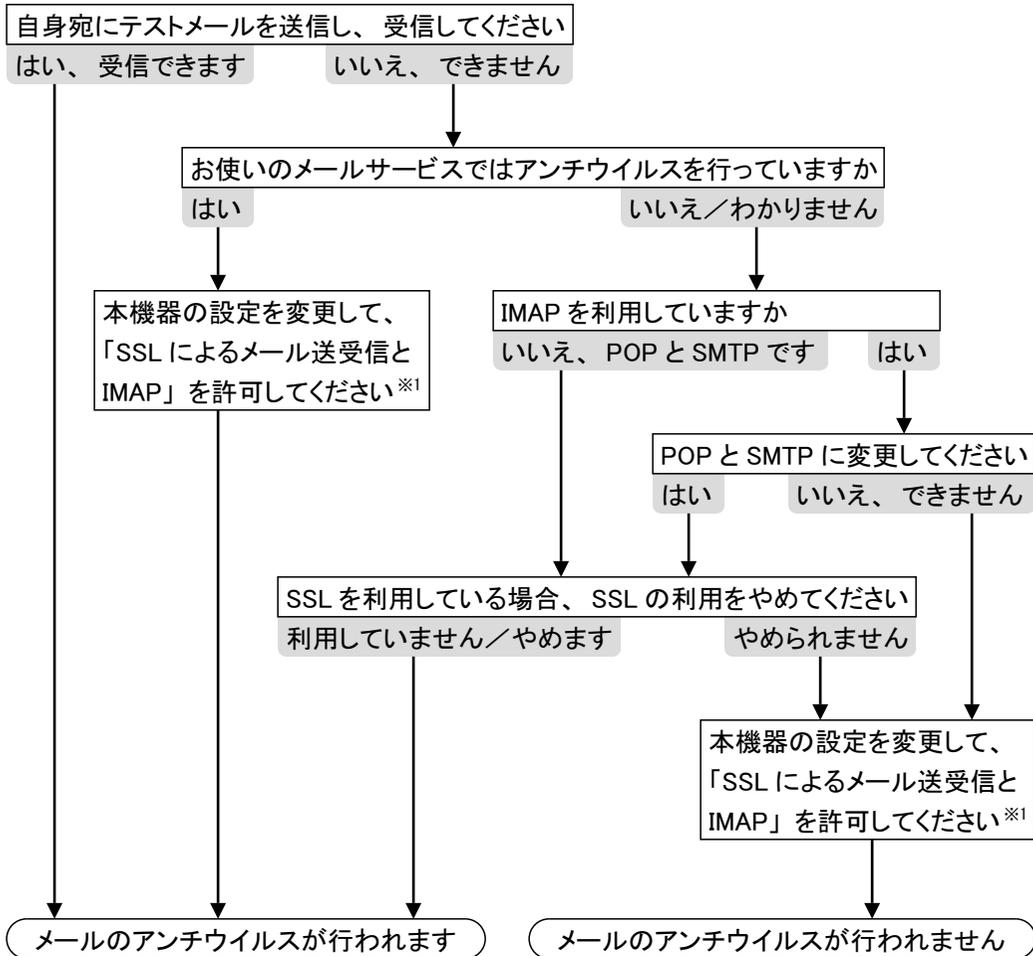
通信内容が暗号化されていると、アンチウイルスや迷惑メール判定といった、メールの内容を判読して実施されるセキュリティ処理が実行できません。

メールは、多数の送信者から送られてきます。中には、感染データを故意に送りつけてくることもあります。また、信頼できるかたからのメールであっても、そのかたの PC が感染していると感染データが添付されることがあります。そのため、SSL により盗聴を防ぐメリットよりも、アンチウイルスが行えないデメリットの方が大きいと言えます。

IMAP に関しては、本サービスが対応していないためにアンチウイルスを行えません。そのため、初期状態においては禁止しています。

SSL によるホームページ閲覧 (https) について

ホームページ閲覧では、SSL は、クレジットカード番号に代表される機密性の高い情報を交換する際に用いられます。機密性の高い情報を交換する相手の WWW サービスにおいて、ウイルスに感染する可能性はかなり小さいと考えられます。また、SSL の利用を利用者側で選ぶことはできません。そのため、本サービスでは、ホームページ閲覧の SSL (https) や ftp の SSL (ftps) はアンチウイルス処理を行わずに通過させています。



※1 この設定変更は、本機器をご利用のすべてのかたに適用されます。

迷惑メール判定について

迷惑メール判定を利用するためには、本サービスへの設定が必要です。設定方法については、オンラインヘルプを参照してください。

また、アンチウイルスと同じ理由により、SSL によるメール送受信と IMAP に対しては迷惑メール判定を行うことはできません。

参照

「オンラインヘルプを見る」(P.36)

chapter_

4

付録編

- 困ったときは42
- お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」46
- 主な仕様48

困ったときは

本サービスの利用中に、次のようなトラブルがあった場合、参照してください。

- 「セットアップの長時間停止が表示される」 (P.43)
- 「インターネットに接続できない」 (P.43)
- 「メールが受信できない」 (P.44)
- 「メールが送信できない」 (P.44)
- 「インジケータの点灯状態がいつもと違う」 (P.45)

トラブルが解決しないときや、上記以外の障害の場合は、次のオンラインヘルプやお客様サポートサイトを参照してください。または beat コンタクトセンターにお問い合わせください。

オンラインヘルプ

本サービスの機能の説明、操作方法などを説明しています。閲覧方法は「オンラインヘルプを見る」 (P.36) を参照してください。

お客様サポートサイト <http://www.net-beat.com/support/>

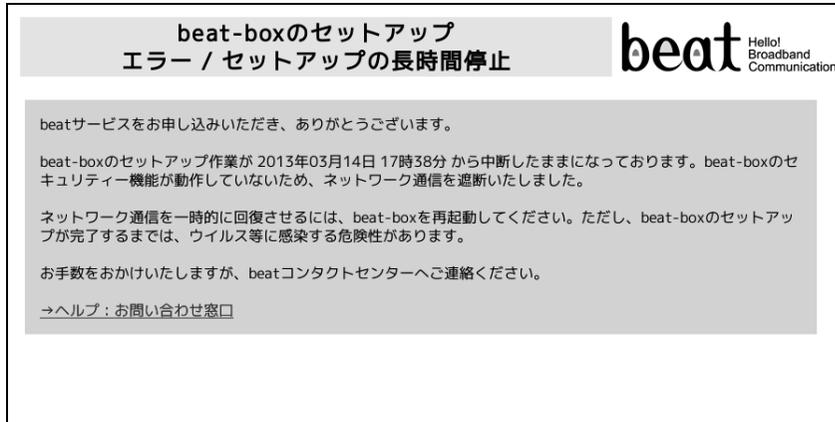
本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。

beat コンタクトセンター

電話、FAX、お問い合わせフォームにてお問い合わせいただけます。詳細は「beat コンタクトセンター」 (P.46) を参照してください。

セットアップの長時間停止が表示される

次の画面が表示された場合は、beat コンタクトセンターにお問い合わせください。



beat/entry サービスでは、セットアップが完了しないと、セキュリティ機能が働きません。何らかの理由により、セットアップの処理が中断し、セキュリティ機能が働かない状態で使用されるのをさけるため、電源起動から30分経過しても、セットアップが完了しない場合には、beat-boxを経由するインターネットへのアクセスに対して、「セットアップの長時間停止」のエラー画面を表示します。

インターネットに接続できない

- ① ステータスインジケータが、正常稼働を表す往復点灯しているかどうかを確認してください（インジケータの往復点灯については、『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』を参照してください）。
⇒ 往復点灯している場合は、③ の手順に進んでください。
⇒ 往復点灯以外の場合は、② の手順に進んでください。
- ② 往復点灯以外の場合は、『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』の「インジケータが表す動作状態と対処方法」を参照し、「お願いしたい対処方法」を実施してください。
往復点灯になってもインターネットに接続できない場合は、③ の手順に進んでください。
- ③ ハブや無線 LAN のアクセスポイントなどを利用している場合は、PC がそれらと正しく接続されていることを確認してください。

- ④ トラブルが解決しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（ISP）についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

メールが受信できない

- ① インターネットに接続できることを、確認してください。
インターネットに接続できない場合は、「インターネットに接続できない」（P.43）を参照してください。
- ② メール受信プロトコルに、POP を利用しているかどうかを確認してください。
⇒ POP 以外を利用している場合、③ の手順に進んでください。
⇒ POP を利用している場合、④ の手順に進んでください。
- ③ 本サービスから beat-box 責任者宛に通知メール（件名：メール通信の遮断）が届いているかどうかを beat-box 責任者に確認してください。
⇒ 通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を、beat-box 責任者に実施していただいでください。
⇒ 通知メールが届いていない場合は、④ の手順に進んでください。
- ④ 利用しているプロバイダー（メールサービス）との契約情報を確認し、メールソフトの設定が正しいことを確認してください。
- ⑤ トラブルが解決しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（メールサービス）についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

メールが送信できない

- ① インターネットに接続できることを確認してください。
インターネットに接続できない場合は、「インターネットに接続できない」（P.43）を参照してください。
- ② 本サービスから自身宛に通知メール（件名：メール送信の遮断）が届いているかどうかを確認してください。
⇒ 通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を実施してください。
⇒ 通知メールが届いていない場合は、③ の手順に進んでください。

- ③ メール送信プロトコルに、SMTP（ポート 25 または 587 番）を利用しているかどうかを確認してください。
⇒ SMTP 以外を利用している場合、④ の手順に進んでください。
⇒ SMTP を利用している場合、⑤ の手順に進んでください。
- ④ 本サービスから beat-box 責任者宛に通知メール（件名：メール通信の遮断）が届いているかどうかを beat-box 責任者に確認してください。
⇒ 通知メールが届いている場合は、それに記載されている対処方法を、beat-box 責任者に実施していただいでください。
⇒ 通知メールが届いていない場合は、⑤ の手順に進んでください。
- ⑤ 利用しているプロバイダー（メールサービス）との契約情報を確認し、メールソフトの設定が正しいことを確認してください。
- ⑥ トラブルが解決しない場合は、beat コンタクトセンターへご連絡ください。
※ 障害情報などを確認するため、ご利用の回線提供元やプロバイダー（メールサービス）についてお聞きする場合があります。契約内容の確認ができる書面を事前にご用意いただくと、対応がスムーズです。

インジケータの点灯状態がいつもと違う

- ① ステータスインジケータが、正常稼働を表す往復点灯をしているかどうかを確認してください（往復点灯については、『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』の「インジケータについて」を参照してください）。
- ② 往復点灯以外の場合は、『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』の「インジケータが表す動作状態と対処方法」を参照し、「お願いしたい対処方法」を実施してください。

お問い合わせ窓口「beat コンタクトセンター」

お問い合わせをする前に

お問い合わせをする前に、以下の内容もぜひご覧ください。

- **本書**
セットアップ方法や本サービスの概要、困ったときの対処方法などを掲載しています。
- **オンラインヘルプ**
本サービスの機能の説明、操作方法などを説明しています。
閲覧方法は「オンラインヘルプを見る」(P.36)を参照してください。
- **お客様サポートサイト** <http://www.net-beat.com/support/>
本サービスに関する最新情報や障害・メンテナンス情報、FAQなどを公開しています。

beat コンタクトセンター

» 事前にご用意ください

お問い合わせには本機器のシリアル番号が必要になります。シリアル番号(SER#につづく6桁の数字)は本機器の上面に貼付してありますのでお問い合わせの前にご確認ください。

📖 参照

シリアル番号については、『beat-box-mini2 ユーザーズガイド』を参照してください。

» お問い合わせ時にお知らせください

迅速な解決のために、お問い合わせ時には以下の内容を分かる範囲でお知らせください。

- 1) お客様の会社名、氏名、連絡先(住所、電話番号など)
- 2) 使用しているPCのOS
- 3) インジケータの点灯状態
- 4) 現在の状態(エラーメッセージやその状態になったときの操作内容)

beat コンタクトセンター

電話 0120-126414

FAX 045-650-7666

Web <http://www.net-beat.com/support/>
お客様サポートサイト「お問い合わせ」より

受付時間

8:00～21:00 (平日)

9:00～18:00 (土曜、日曜、祝日、
12月31日～1月3日)

※beatコンタクトセンターからのご連絡は
9:00以降とさせていただきます。

上記の窓口では、お問い合わせやご依頼の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

beat コンタクトセンターでは、本サービス以外のお問い合わせ（PC やソフトウェアの操作、接続機器などの設置・設定など）につきましては、お応えできかねますので購入先の販売店・メーカーのサポートセンターへお問い合わせください。また、日本国外からのお問い合わせや、日本国外での利用に関するお問い合わせにはお答えできません。

beat コンタクトセンターでは、beat-noc（ネットワークオペレーションセンター）からお客様の利用環境に関する障害情報を取得した場合に、お客様に対して障害発生の報告と状況確認のために電話にてご連絡することがあります。

主な仕様

本サービスで提供する主な機能は次の通りです。各機能は、適用範囲や性能などに次の制限があります。また、本サービスの機能や操作方法は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

beat/entry サービス

項目	仕様
アンチウイルス	<p>次の通信を対象としてウイルスチェックを行います。ウイルスを検知した場合には通信を遮断したり、メールの送受信を中止します。ただし、いずれの場合も SSL/TLS (STARTTLS を含む) は除きます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ http (ポート 80 番) (双方向) ・ ftp (ポート 21 番およびデータコネクション) (双方向) ・ pop3 (ポート 110 番) ・ smtp (ポート 25 および 587 番) <p>次のファイルは対象となりません。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 圧縮ファイルで rar, zip, jar, tar, tgz, tar.gz, gz, bz2, cab, arj, 7z, iso, lzh 以外のもの ・ 自動解凍ファイルで zip-sfx, rar-sfx, 7z-sfx, cab-sfx, nsis install 以外のもの ・ 圧縮ファイルやアプリケーションファイルでパスワード保護や暗号化されているもの ・ 一定サイズ以上のファイル (攻撃を防ぐために具体的な上限値は公表を控えさせていただきます) <p>次の場合にはウイルスを検知できない場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 新種のウイルス

項目	仕様
ファイアウォールおよび通信	<p>本機器のインターネット側ネットワークから LAN 側ネットワークへ接続要求を行うすべての通信を遮断します。NetBIOS の名前解決を行うための通信も遮断されるため、beat-box よりインターネット側にある PC 等の機器を、LAN 側ネットワークから、NetBIOS 名でブラウジングすることができなくなります。ただし、同一セグメント内でのアドレス解決を行うための通信は遮断しません。ブリッジモードで動作するため、ARP パケットと DHCP パケットは通過させます。LAN 側から接続要求を行う通信のうち、次の通信は初期状態では禁止しています。設定によって通過させることが可能です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ pop3 over SSL/TLS (ポート 995 番) ・ pop3 over SSL/TLS (ポート 110 番で STARTTLS によるもの) ・ smtp over SSL/TLS (ポート 465 番) ・ smtp over SSL/TLS (ポート 25、587 番で STARTTLS によるもの) ・ imap (ポート 143 番) ・ imap over SSL/TLS (ポート 143、993 番) <p>LAN 側から接続要求を行う通信のうち、次の通信は遮断されることがあります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ RFC (事実上の通信プロトコルの標準規約) に従わない通信 <p>アンチウイルス、不正な通信対策などの機能を実行するために通信速度が低下することがあります。</p>
不正な通信対策 (IPS : 攻撃防御システム)	<p>不正な通信を遮断します。ただし、すべての不正な通信を遮断するものではありません。まれに、正常な通信を誤検知して遮断することがあります。</p>
不正な通信対策 (アプリケーションによる通信を遮断します。遮断可能なアプリケーションについての詳細はオンラインヘルプで確認してください)	<p>情報漏洩やウイルス感染などの危険性がある、特定のアプリケーションによる通信を遮断します。遮断可能なアプリケーションについての詳細はオンラインヘルプで確認してください。</p> <p>まれに、指定したアプリケーション以外の通信を誤検知して遮断することがあります。</p>
迷惑メール判定	<p>受信するメールのうち迷惑メールを判定し、判定したメールの件名 (タイトル) の先頭に指定された文字列を付与します。利用のためには、手動で機能をオンにしてください。迷惑メールにもかかわらず迷惑メールと判定されない場合があります。まれに、正常なメールを迷惑メールと判定することがあります。</p>

項目	仕様
メール送受信	<p>メール送信可能なメールアドレス数は、ご契約いただいた利用者数が上限です。初期状態では、送信メールアドレスは自動登録されます。そのため、メールアドレス数以外の制限はかかりません。自動登録の場合には、約 2 週間送信しないと、その送信メールアドレスは自動的に抹消されます。それ以前に不要な送信メールアドレスを抹消するためにはお客様の操作が必要です。</p> <p>送信メールアドレスを手動登録にすることで、指定しないメールアドレス以外からの送信を禁止することができます。メール送信時にメールサービスが送信を拒否した場合には、いったん送信が完了したあとで、送信失敗を通知メールでお知らせすることがあります。メール受信に関する制限はありません。</p>
複合機 / プリンター管理	<p>複合機やプリンターの面数、または枚数の取得および表示、消耗品情報のメールによる通知などを行います。手動で機能をオンにし、対象とする機器を登録していただく必要があります。標準 MIB に対応していない機器の情報は取得できません。機種によって取得できない情報があります。また、取得した情報の意味が機種によって異なることがあります。詳細はオンラインヘルプを参照してください。</p>
レポート参照	<p>ファイアウォールへの攻撃、不正な通信対策、ウイルス検出、迷惑メール判定に関するレポートを表示できます。また、毎週レポートを beat-box 責任者宛にメールでお送りします。停電が発生すると、レポートの集計値の一部が失われ、正しい値を表示できなくなることがあります。</p>
beat-box 責任者メール	<p>利用者数上限のためにメール送信ができない場合など、対処していただく必要がある状況が発生したとき、メールでお知らせします。また、メンテナンスや障害情報、新機能や新サービスについてもメールでお知らせします。</p> <p>メールの内容にお客様固有の情報が含まれる場合、盗聴を防ぐための対策がされています。beat-box 配下で受信した場合には内容が表示されますが、beat-box 配下以外で受信した場合には、本機器内の Web ページの URL が記載されています。内容を見るためには beat-box 配下で Web ページにアクセスする必要があります。このようにメールが URL を含む場合があるため、一部のプロバイダーの迷惑メール判定において、beat-box 責任者メールが迷惑メールと誤判定されることがあります。</p>
ApeosPort 連携	<p>複合機の基本機能（コピー / スキャン / ファクス）を拡張します。富士ゼロックス製の複合機と beat-box を連携させることで、用紙の節約や紙文書の電子共有化などを、より簡単な操作でできるようにします。</p> <p>利用のためには、対象とする機器を登録していただく必要があります。対応機種以外とは連携できません。また、対応機種であっても別途オプション契約が必要な場合があります。</p>

項目	仕様
文書ストレージ	<p>重要文書などのデータをインターネット上のデータセンターに保管します。データは、beat-box で暗号化され、3 箇所のデータセンターに同一内容で保持されます。</p> <p>利用のためには、手動でサービスをオンにさせていただく必要があります。文書の属性、検索用インデックスなども保持するため、必要なデータ総量は文書サイズの合計よりも大きくなります。一時的にデータセンター 2 箇所以下での保持になるケースがあります。注意事項や免責事項などの詳細については、文書ストレージの利用規約を参照してください。</p>
beat コンテンツフィルターサービス (オプション)	<p>暴力、アダルト、ギャブルなどカテゴリを用意し、指定されたカテゴリに属する Web ページの閲覧を禁止します。手動で閲覧を制限したいカテゴリやレベルを指定いただく必要があります。指定したカテゴリに属すと考えられるすべての Web ページの閲覧が制限されるとは限りません。まれに、属さない Web ページの閲覧が制限されることがあります。</p>
beat PC クライアントアンチウイルスサービス (オプション)	<p>PC 用のアンチウイルスソフトウェアをご提供します。契約いただいた数量以下の PC にインストールすることができます。サーバー用 OS では動作しません。動作要件の詳細はオンラインヘルプを参照してください。新種のウイルスは検知できない可能性があります。バージョンアップの際に、再インストールなどを実施していただくことがあります。</p>
beat/entry リモートアクセスサービス (オプション)	<p>出張先や自宅の PC から、安全にオフィスの LAN へアクセスすることを可能にします。</p> <p>利用のためには、手動で利用者にリモートアクセス権を付与していただく必要があります。また、インターネット接続可能な PC と専用ソフトウェアが必要です。同時接続数は 20 まで、連続接続時間は最大 24 時間 (3 時間ごとに接続継続確認) です。接続方式は OpenVPN です。お互いのネットワークアドレスが異なっている必要があります。詳細はオンラインヘルプを参照してください。</p>
安心ファクスサービス (オプション)	<p>富士ゼロックス製の複合機と beat-box を連携させることで、複合機のファクス機能を拡張します。宛先表の管理、誤送信防止、送信履歴の参照、送信したファクス画像の保存などが可能になります。対応機種以外では利用できません。また、対応機種であっても別途オプション契約が必要な場合があります。同報通信はできません。</p>
オンデマンドサービス for DocuWorks (オプション)	<p>ドキュメントハンドリングソフトウェア DocuWorks をご提供します。さまざまな文書データの処理を同一画面で行なえます。</p> <p>契約いただいた数量以下の PC にインストールすることができます。クライアント用ソフトウェアです。サーバー用 OS では動作しません。動作要件の詳細はオンラインヘルプを参照してください。パッケージ版と併用はできません。事前にパッケージ版をアンインストールしてください。</p>

索引

英数字

beat-box の IP アドレス	27
beat コンタクトセンター	42
beat 設定ページ	33
SSL によるホームページ閲覧 (https) について	38
SSL によるメール送受信と IMAP の 利用方法	37

あ

インジケータの点灯状態がいつもと違う ...	45
インターネットに接続できない	43
お客様サポートサイト	42
主な仕様	48
オンラインヘルプ	36

か

外部からアクセスさせたい機器を 利用している場合	20
-----------------------------------	----

さ

サブネットマスク	27
セカンダリー DNS の IP アドレス	27
セットアップ後に自動的に 働きはじめる機能	32
セットアップ作業	22
セットアップの長時間停止	43
セットアップの前に	16

た

デフォルトゲートウェイ	27
-------------------	----

は

不正な通信対策機能	14
プライマリー DNS の IP アドレス	27

ま

迷惑メールの検知状況	14
迷惑メール判定について	39
メールが受信できない	44
メールが送信できない	44

ら

利用のために設定が必要な機能	32
利用を開始する前に	32
ルーター内蔵のハブ機能を 利用している場合	19
ルーター内蔵の無線 LAN 機能を 利用している場合	21
ルーターを利用していない場合	18

● beat コンタクトセンター

受付窓口 0120-126414 (電話)
045-650-7666 (FAX)

受付時間 8:00~21:00 (平日)
9:00~18:00 (土曜、日曜、祝日、12月31日~1月3日)

※ beat コンタクトセンターからのご連絡は 9:00 以降とさせていただきます。

※ お問い合わせのご依頼の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

● beat お客様サポートサイト

<http://www.net-beat.com/support/>

beat/entry サービス ユーザーズガイド (beat-box-mini2 用)

著作者 富士ゼロックス株式会社
発行者 富士ゼロックス株式会社

発行年月 2013年6月 第1版

(帳票 No. MT3424J1-1)

Printed in Japan

beat
beat/entryサービズ ユーザーズガイド (beat-box-mini2用)



EMA0015308-A